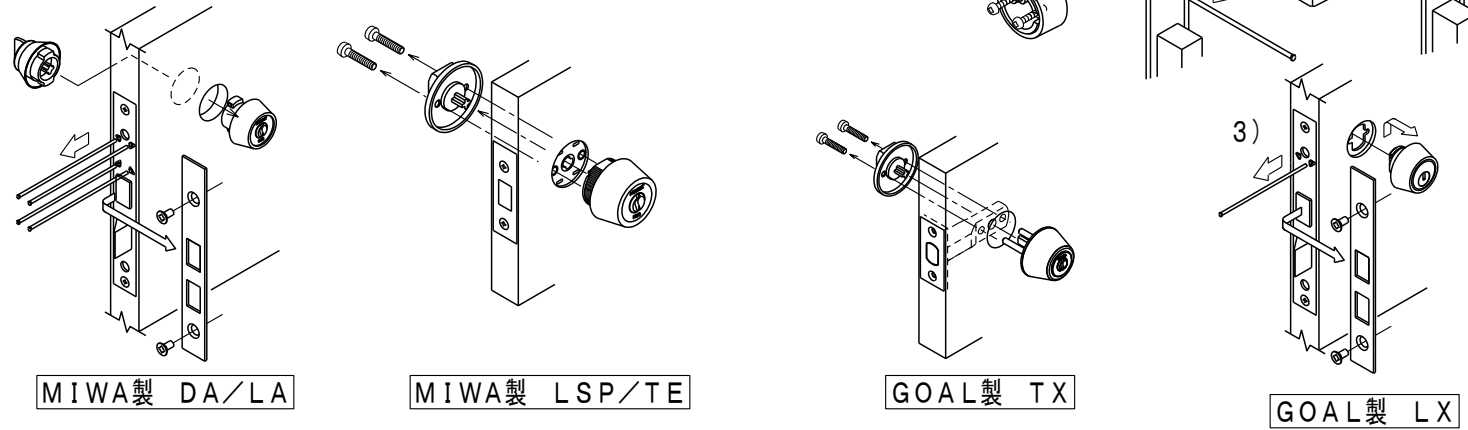


● はじめに

- ※本製品は錠前施工技術者による取付を推奨致します。
- ※全ての作業は扉を開けた状態で実施して下さい。
- ※既設の錠前の動作が固い場合は、本製品の故障の原因になりますので、錠前の交換も同時に行ってください。
- ※外部機器を使用した場合、外部機器による故障は製品の保証の対象外となります。

● 適応錠前

MIWA社製 LA/DA/LSP/TE GOAL社製 TX/LX



MIWA製 DA/LA

MIWA製 LSP/TE

GOAL製 TX

GOAL製 LX

● 対応扉厚

DT33-50mm ※エスカッションがある場合はエスカッションも扉厚に含まれます。

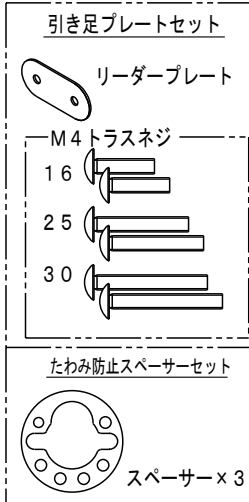
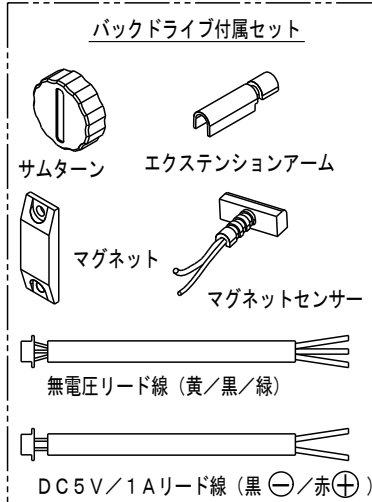
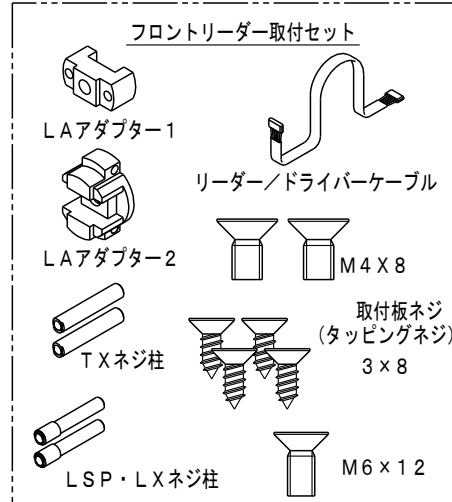
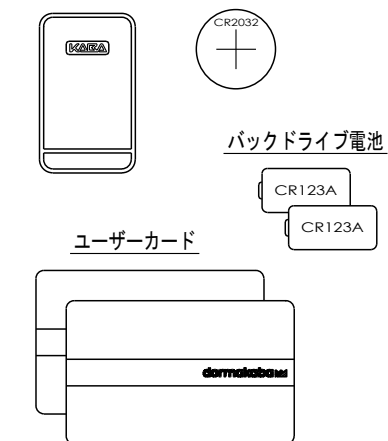
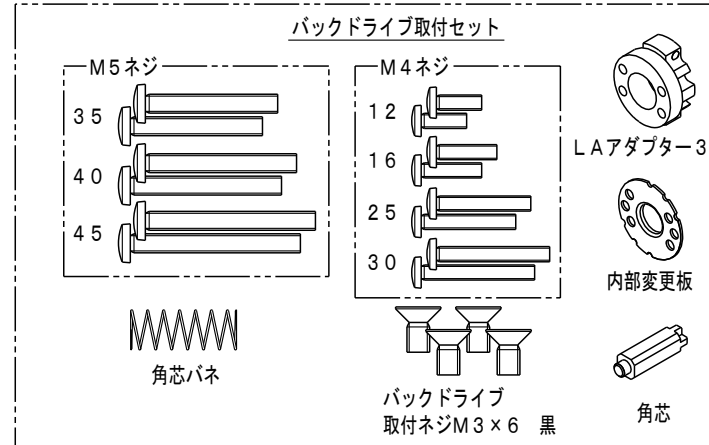
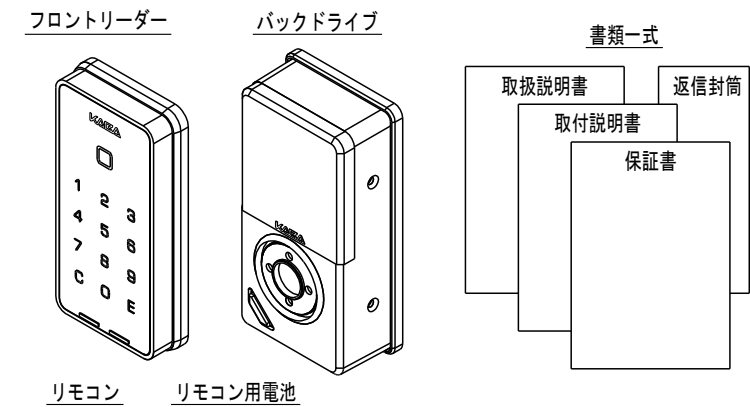
● 対応バックセット

B/S: 38/51/60/64 ※B/S38の場合、枠の形状によって、外開きに対応出来ないことがあります。

- 履歴管理には専用ソフトウェア及びPCとバックドライブを接続するmicroB（データ転送用）ケーブルが必要です。詳しくはドルマカパージャパンのホームページをご確認ください。

- 電池には使用推奨期限がございます。期限を過ぎた電池は必ず交換してください。そのままご使用になると故障の原因となります。

● 同梱部品一覧

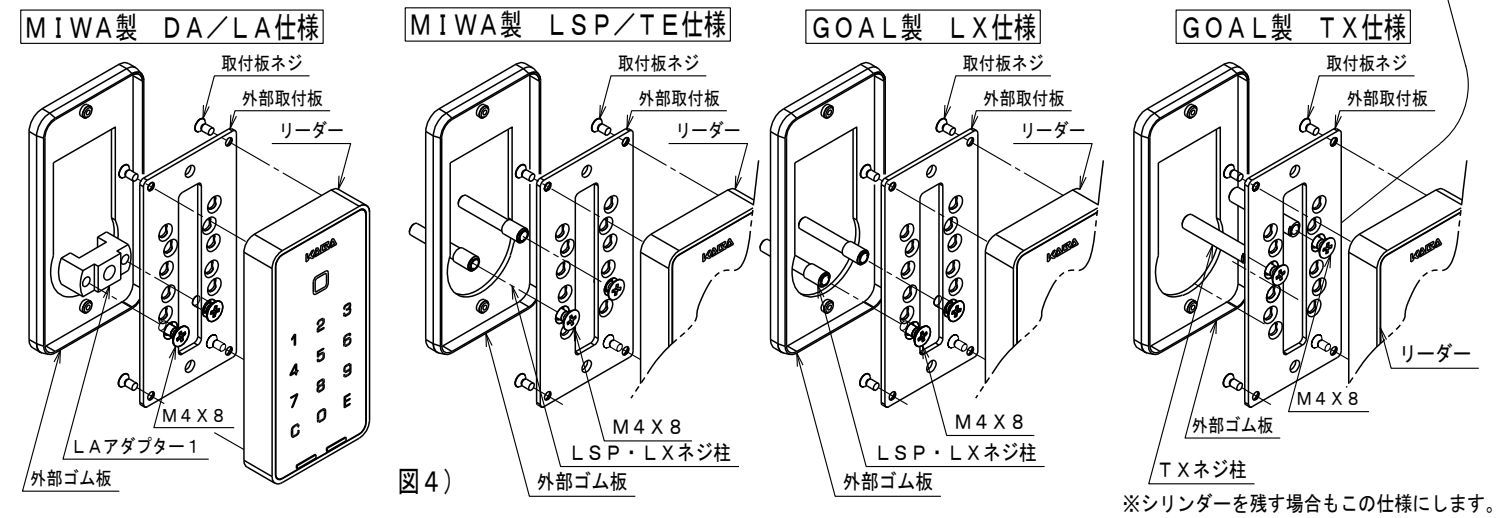


① リーダーセットアップ

【既存シリンダーを外す取付方法】

- 1、取付ける錠前の機種を確認し、左記の図1を参照しながら、既存のシリンダーとサムターンを外します。
- 2、付属のリーダー/ドライバーケーブルをシリンダー/サムターンの切欠き穴に通します。ケーブルは図2の様に錠前をかわして通してください。うまくケーブルが通らない時は、錠前を扉から一度外して通します。
- 3、下記の図4を参照し、リーダーを各錠前に合わせてセットします。

※外部取付板の刻印（図3）を確認して、取付ける錠前に合わせて、ネジ柱等を取付けてください。
※外部取付板は天地逆転でも使用できます。



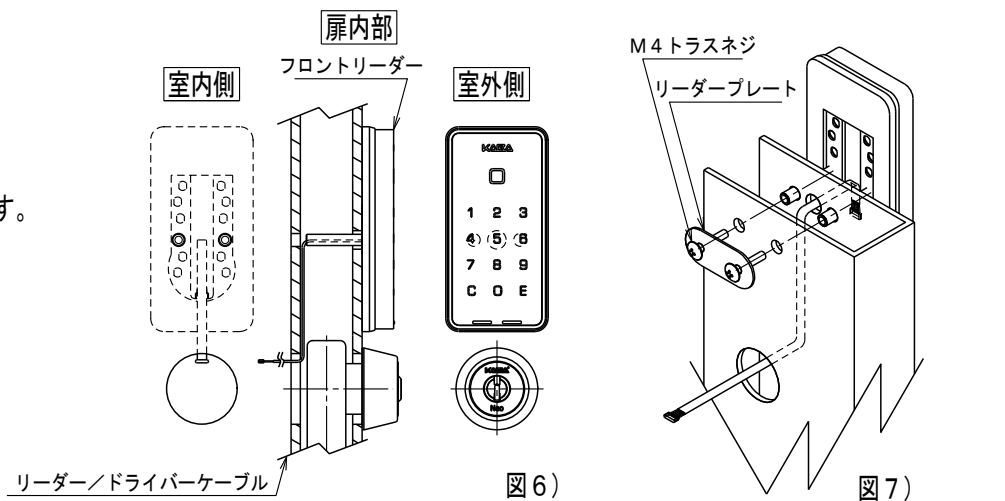
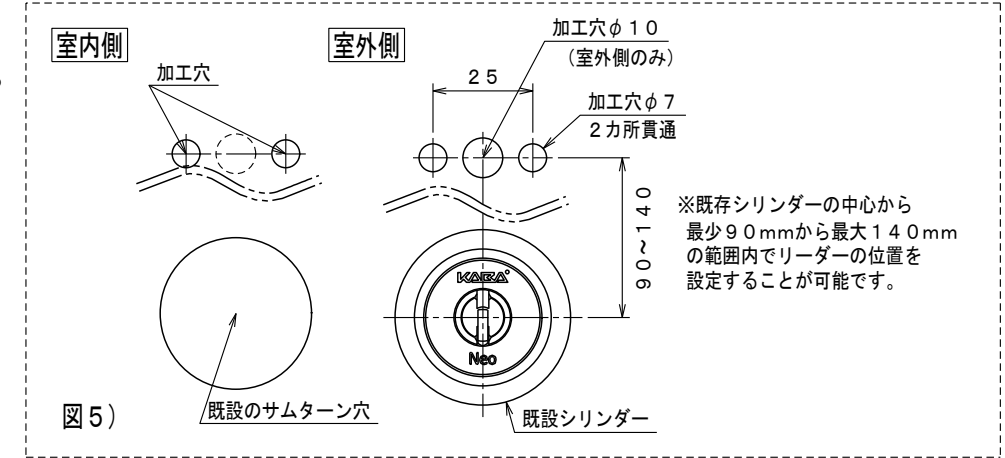
【既存シリンダーを残す取付方法】

- 1、取付ける錠のサムターンのみを外します。
- 2、図4のTX仕様にリーダーをセットアップしてください。
- 3、右の切欠き図（図5）を参照して、扉に加工してください。
- 4、扉厚により、以下表を参照して、使用するネジを選びます。

M4×16	DT33~DT37
M4×25	DT38~DT44
M4×30	DT45~DT50

- 5、図6、7のようにリーダーを扉に取付け、リーダープレートで室内側から引き付けます。

※扉に加工出来ない場合は無加工用エスカッションプレート（オプション）をご使用ください。

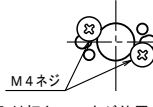


② バックドライブの取付

※たわみ防止の為、付属のたわみ防止スペーサーの使用をお奨めします。

【既存シリンダーを外す取付方法】

各錠種に合わせてバックドライブを取付けます。角芯を取付ける際は、サムターンを手動で回し、施開錠できることを確認してください。角芯は錠種によって向き・位置が異なるため、取付上の注意を参照ください。取付後、取扱説明書を確認し、設定及び登録作業を行ってください。

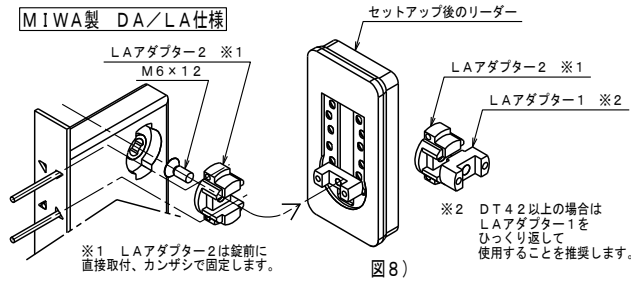


※3 取付板とM4ネジ位置

1、DA/LA錠への取付方法

リーダーを図8のようにセットし、室内側のシリンダー穴からM6×12のネジを引き付けて室外側の扉に固定します。リーダーをセットした後、バックドライブを図9のように取付けます。

MIWA製 DA/LA仕様



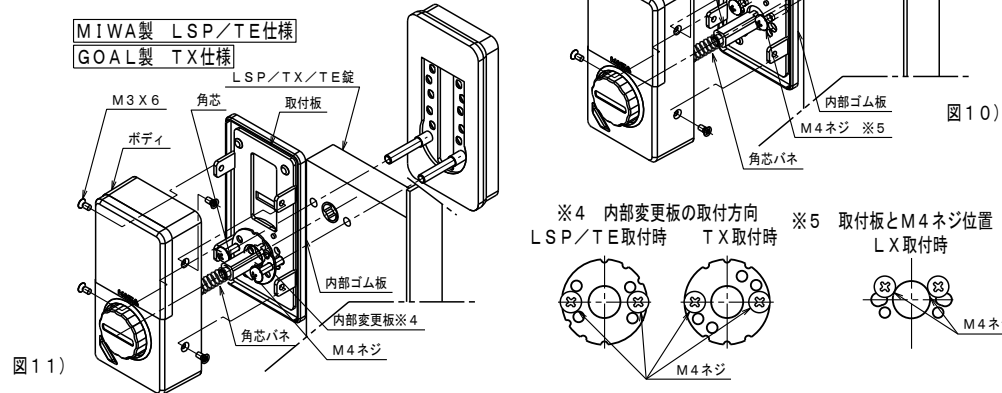
2、LX/TX/LSP/TE錠への取付方法

扉厚により、右表を参照して、使用するネジを選びます。

M4×16	DT33~DT37
M4×25	DT38~DT44
M4×30	DT45~DT50

下記の図10、11を参照し、室外側からリーダーのネジ柱を錠前に通して、室内側から内部ゴム板、取付板を通してネジで引き付けます。

MIWA製 LSP/TE仕様 GOAL製 TX仕様



※4 内部変更板の取付方向 LSP/TE取付時 TX取付時
※5 取付板とM4ネジ位置 L X取付時

【既存シリンダーを残す取付方法】

各錠種に合わせてバックドライブを取付けます。角芯を取付ける際は、サムターンを手動で回し、施開錠できることを確認してください。角芯は錠種によって向き・位置が異なるため、取付上の注意を参照ください。取付後、取扱説明書を確認し、設定及び登録作業を行ってください。

1、DA/LA錠への取付方法

②、1のDA/LA錠の取付を参照してください。

2、LX/TX/LSP/TE錠への取付方法

扉厚により、表12から使用するM4/M5ネジを選びます。図13、14を参照し、既設のシリンダーを直接引き付け、バックドライブを取付けます。

MIWA製 LSP/TE仕様 GOAL製 TX仕様

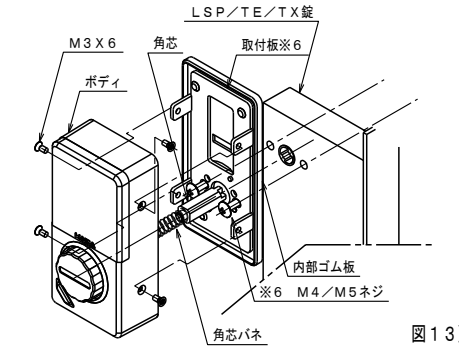
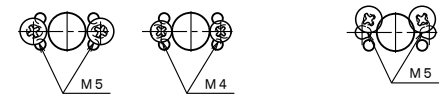


図13)

※6 取付板とM4/M5ネジ位置 LSP/TE取付時 TX取付時

※7 取付板とM5ネジ位置 L X取付時



GOAL製 LX仕様

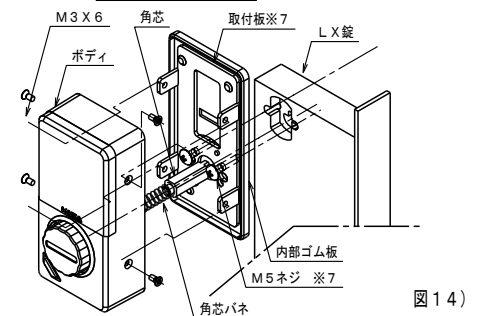


図14)

③ 結線

- 図15を参照して、リーダー、バックドライブ、また必要に応じてマグネットセンサー、DC入力、無電圧リード線（外部機器連動用）を結線します。
- エクステンションアームを使用することで、柱からマグネットセンサーまでの距離を調整できます。（図16参照）※閉扉時に自動施錠設定しない場合はマグネットセンサーの設定は不要です。

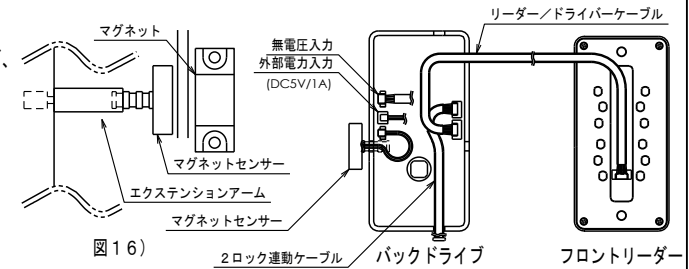


図16)

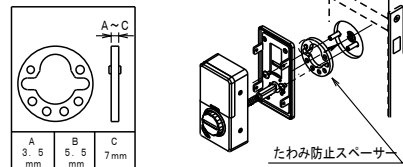
※同梱されているリーダー/ドライバーケーブルが短い場合は、リーダー/ドライバー ロングケーブル1m（オプション）をご利用ください。

◆取付上の注意！扉のたわみ◆

取付時にネジを締め込みすぎると、扉がたわんでサムターンやデッドボルトの動きが固くなる場合があります。錠種・扉厚に合わせて、3種類（厚み違い）のたわみ防止スペーサーを組合せてご使用ください。詳細は付属の取説を参照下さい。

※たわみ防止スペーサーは、GOAL製TXに適合していません。

付属セット部品



◆取付上の注意！角芯の向き◆

角芯は錠種によって差し込む向き・位置が異なります。LA、LSP、TEの場合、右図のように取り付けて、手動でサムターンを回したとき、固くて回しづらい場合は浅め位置で再度取り付けて下さい。（扉厚DT40以上に使用）

※無理やり角芯を押し込むと故障の原因となります。

